

申込フォームもしくははがきによりお申し込みください。
応募締切日は各イベントによって異なります。
募集人員を超過した場合は抽選を行います。

【申込フォームの場合】
姫路市立美術館ホームページイベント欄の
申込フォームからお申し込みください。



※申請には、姫路市オンライン手続きポータルサイトへの
新規登録またはログインが必要です。



※動作環境により、利用できない場合があります。
※システムから通知メールを送信します。迷惑メール対策
を行っている場合は、「@city.himeji.lg.jp」のメール
を受信できるよう設定を変更してください。

【はがきの場合】
申込は原則として1人につきはがき1枚。ただし、
親子・家族・介助者同伴など、同一グループで参加
を希望する場合は、代表者がはがき1枚に同伴者
全員の情報を記入して申し込むことができます。

〒670-0012
表面 姫路市本町68番地25
姫路市立美術館「アウトリーチプログラム
(8月～11月)」係まで
・参加希望のイベント名と日付
裏面 ・氏名(参加する方のお名前を記入)
・住所
・年齢
・当日連絡の取れる電話番号

申込結果は、イベントの2週間ほど前にメールもしくは郵
送でお知らせいたします。

応募締切日の消印有効
※色ガラスで作るモザイクアート(8/11日(火・祝)・
8/13日(木))に関してはオンライン手続きポータルサ
イトのみ(先着順)でのお申し込みになりますのでご注
意ください。
※小学生以下は保護者の同伴をお願いします。
※イベント9に関しましては小学生以下が対象です。
※イベント12に関しましては小学校高学年以上が対象
となります。ご注意ください。
※内容や日程が変更となる場合がございます。あらかじ
めご了承ください。
※美術館HPで最新情報をご確認ください。

全イベントのお問い合わせは姫路市立美術館
(Tel.079-222-2288)となります。
各会場ではございませんのでご注意ください。

1 応募締切：9月12日(土)・10月10日(土)
明珍鍛冶場で匠の技に触れよう
第53代明珍家当主・明珍宗敬氏の鍛冶場を訪ね、超
絶技巧の職人技を目の当たりにするとともに、簡単な
鍛冶体験ができます。また、明珍鍛冶場に至る道のり
である野里地区では、当館学芸員により国登録有形
文化財の町家なども紹介します。

日時／9月26日(土)13:30～15:30
10月24日(土)13:30～15:30
コース／姫路市立美術館 ▶ 野里地区
▶ 明珍鍛冶場
講師：明珍宗敬氏、当館学芸員
定員：各回10名



2 応募締切：9月26日(土)
ミュージアム建築さんぽ
姫路市立美術館(国登録有形文化財)、扇観亭(黒川
紀章建築)、兵庫県立歴史博物館(丹下健三建築)、
姫路文学館(安藤忠雄建築+国登録有形文化財・望
景亭)を巡る建築ツアー。各館の学芸員が、それぞ
れの建築の見どころや魅力を解説します。

日時／10月10日(土)13:00～17:00
コース／姫路文学館 ▶ 扇観亭 ▶ 姫路市立美術館
▶ 兵庫県立歴史博物館
講師：各館学芸員 定員：15名



3 応募締切：10月3日(土)
描かれた場所を訪れてみよう
姫路市立美術館所蔵の作品の中から現在その場所
がどうなっているか絵と比べてみるツアー。美術館に
集合してから、各所を訪れながら作品の魅力や描か
れた場所について解説します。

日時／10月17日(土)10:00～12:00
コース／姫路市立美術館 ▶ 市民会館前
▶ 姫路駅 ▶ 姫路城周辺



4 応募締切：8月2日(日)
美術館、まちへ出る
—学芸員、コレクションへの愛を語る—
会場／MONZEN QWELLビル2階
時間／14:30～16:00(受付は30分前から)
定員：各回25名 講師：当館学芸員

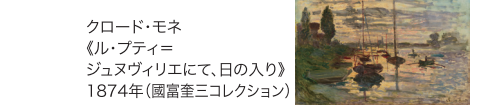
1 「時空を超える美術—
現代美術でコレクションの魅力再発見」
日時／8月16日(日) 講師：米田晴子

2 「姫路市立美術館の
コレクションとベルギー」
日時／9月12日(土) 講師：高瀬晴之

3 「旅のベース コレクション日本画編」
日時／10月31日(土) 講師：吉中充代

5 応募締切：9月13日(日)
モネ没後100年調査研究プロジェクト記念講演会
クロード・モネの魅力
姫路市立美術館所蔵
《ル・プティ＝ジュヌヴィリエにて、日の入り》を中心

2026年はモネの没後100年にあたります。これを記
念し、日本のモネ研究第一人者であり実践女子大学
名誉教授の六人部昭典氏を講師に迎え、当館所蔵の
作品を中心に巨匠モネの魅力に迫ります。
日時／9月27日(日)14:00～15:30
会場／日本城郭研究センター2階大会議室
講師：六人部昭典氏(実践女子大学名誉教授)
定員：80名



6 応募締切：10月11日(日)
公開アーカイブ記録調査！
私と高田賢三の物語—
思い出の服について
語りませんか

姫路ゆかりの世界的ファッションデザイナー高田賢
三が手掛けた服や小物をお持ちの方に、その品にまつ
わる思い出を語っていただく参加型プログラムで
す。購入した場所、着用した日のこと、お気に入りの柄
やデザインなど、あなただけの物語をぜひお聞かせく
ださい。一人ひとりの記憶を聞き取り、記録すること
で、作品や資料だけでは残りにくい服との出会いや時
代の空気を、未来へつないでいきます。
日時／10月25日(日)14:30～16:00(受付は30分前から)
会場／MONZEN QWELLビル2階
講師：本橋弥生氏(京都工芸繊維大学准教授)
TSUTSU氏(クリエイティブ・ディレクター)
定員：20名

7 応募締切：8月2日(日)
アンジェイ・ワイダ生誕100年記念企画
映画『灰とダイヤモンド』上映会
2024年11月に姫路市立美術館はポーランドの日本
美術・技術博物館マンガ(通称：マンガ館)と連携協
定を結びました。今年は、マンガ館の創設者の一人で
もあるポーランド映画の巨匠アンジェイ・ワイダ監督
の生誕100年にあたります。これを記念して、ワイダの
初期代表作『灰とダイヤモンド』(1958年)を上映
します。

日時／9月22日(火・振休)18:30～(予定)
会場／美術館庭園
※雨天時は美術館講堂で開催
参加費：無料 事前申込不要



アンジェイ・ワイダ(1926-2016年)
ポーランドを代表する世界的映画監督。ポーランド
北東部のスヴァウキに生まれる。16歳で反ナチズム
抵抗運動に参加。戦後、クラクフ美術大学で絵画を
学んだ後、ウッチの国立映画大学に入学、演出を学
ぶ。第2次世界大戦の過酷な体験を基に、祖国の歴史、
人間の尊厳を描いた。ドイツ降服直後のポーランド
を背景に、ロンドン亡命政府派の抵抗組織に属した
一人の青年の物語を描いた『灰とダイヤモンド』は、
ヴェネチア国際映画祭批評家連盟賞を受賞。『大理
石の男』(1977年)や『鉄の男』(1981年)と並んで
「抵抗三部作」と呼ばれ、ワイダの代表作として高く
評価されている。

8 応募締切：10月11日(日)
姫路市立美術館友の会主催
秋のやさしい木かげじかん
秋の気配が美しい前庭で、色づく木々を眺めたり、芝
生にござを敷いてごろごろしたり、音楽に耳を澄ませ
たり、ワークショップに参加したり。思い思いのひと
ときをお過ごしください。
日時／10月中旬、11月中旬開催予定
会場／美術館庭園
※雨天時は美術館講堂で縮小開催
参加費：無料 事前申込不要



9 申込開始：7月23日(木)
姫路得とくゼミナール
Kids 2026
色ガラスで作る
モザイクアート
当館所蔵作家である
立花江津子氏のステインドグラス制作過程で出た色
ガラス片を使ってオリジナル作品を作ります。
日時／8月11日(火・祝)14:00～15:00
8月13日(木)14:00～15:00
会場／まちづくりステーション「街の駅」
姫路市二階町27

参加費：500円
定員：各回10名(先着順)
対象：小学生以下(保護者同伴)

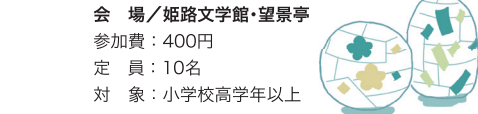
10 応募締切：8月10日(月)
素材を組み合わせてオリジナル
ブックカバーをデザインしよう
チラシやハガシなど様々な素材を組み合わせて、お気
に入りの本をイメージしたブックカバーをつくりま
す。

日時／8月26日(水)13:00～14:30
会場／姫路文学館北館 3階講堂
参加費：無料
定員：20名
対象：どなたでも
※ワークショップ当日は本を
一冊お持ちください。

11 応募締切：9月19日(土)
パネルを使って美術館・
博物館の「アレ」をつくろう
展示室で実際に使われているビクトサインを観察し、
デザインや意図について学んだ後、実際に自分でデザ
インしたオリジナルビクトをつくりま
す。
日時／10月3日(土)13:00～14:30
会場／姫路文学館北館 3階講堂、展示室
参加費：無料 ※別途、観覧料が必要となります。
定員：20名
対象：どなたでも



12 応募締切：10月20日(火)
和紙でつくるランプシェード
当館所蔵の日本画作品を紹介しながら、ランプ
シェードの模様を和紙でデザインするワークショップ
です。
日時／11月3日(火・祝)14:00～16:30
会場／姫路文学館・望景亭
参加費：400円
定員：10名
対象：小学校高学年以上



姫路市立美術館
アウトリーチプログラム
(8月～11月)



姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art



「休館中」 というわけで 美術館、 まちに出ました。

姫路市立美術館は、空調設備等の改修工事のため、2027年12月末まで休館を予定しております。美術館がみなさまにとって開かれた存在であり続けたいという思いから、この期間だけの特別なプログラムをご用意しました。姫路のまちを舞台に、アートに触れる「旅」に出かけてみませんか。



このマップの使い方

このマップでは、姫路城と姫路市立美術館を中心とした半径約2km圏内にある文化財や、おすすめの景観スポットをイラストとともに紹介しています。姫路のまちを「アート」をテーマに巡る、旅のしおりのようにお楽しみください。

各イベントの会場は、マップ上に番号で示しています。イベント会場へ向かう際の目印として、また、まち歩きの中で新たな見どころに出会う手がかりとしてご活用ください。

※本マップは「姫路建築めぐりマップ」の姉妹版です。姫路の建築をより広く巡りたい方は「姫路建築めぐりマップ」とあわせてご利用ください。

まち歩き ART MAP

ワークショップ会場・まち歩き 2 10 11

姫路文学館
1991年に安藤忠雄の設計により開館しました。姫路城をバックに館内を回遊し文学に触れられる空間となっています。

ワークショップ会場・まち歩き 2 12

望景亭(姫路文学館内)
大正から昭和初期にかけて実業家・濱本八治郎が建設した別邸の一部を修復整備したものです。40畳の和室と茶室を備えています。
(国登録有形文化財)

船場エリア・ 姫路船場別院本徳寺

古くから商人の町として栄えたエリア。御坊さんという名で親しまれる真宗大谷派別院の船場本徳寺や、歴史を感じる老舗店が並びます。
(市指定重要文化財)

講座会場 4 6

MONZEN QWELLビル2階
兵庫ゆかりのフードスタンドやストア、2階にはギャラリーも併設した新しい観光拠点です。

姫路城周辺観光ループバス
姫路城周辺をぐるりと回り美術館などの各施設へのアクセスに便利です。(1回大人210円、小人110円)

モノレール跡
1966年に手柄山で姫路大博覧会が開催され、その会場へのアクセスとして作られたのが「姫路モノレール」。利用者の低迷などにより、1974年に休止となり、1979年に廃止となりました。

まち歩き 2

扇観亭
シロトピア記念公園内にある黒川紀章が設計した休憩施設です。

まち歩き 2

兵庫県立歴史博物館
1983年に丹下健三の基本設計により開館しました。コンクリートの重厚な雰囲気に加えてガラス面には姫路城天守の美しい姿が映ります。

講座会場 5

**日本城郭研究センター
(姫路市立城郭研究室)**

ノコギリ横丁
一軒ごとに家屋がジグザグに立ち並ぶ歴史的な路地です。身を隠すための「武者隠し」の防衛機能として作られたという説が伝わり、ここ以外にも姫路市内では数カ所に残っています。

まち歩き 1

野里エリア
姫路城築城前から栄えた地域で、神社仏閣や虫籠窓のある町家などが残ります。現在も風情を活かしたお店が多く、散策が楽しめます。

まち歩き・庭園イベント

1 2 3 7 8 会期中まち歩きや建築さんぽ、上映会などのイベントを開催します。

姫路市立美術館
1905年に宮本平治・井田熊吉の設計により、旧陸軍の西倉庫として建てられ、1913年には北側が増設されました。戦後は姫路市役所として市民に愛され、1983年からは美術館として活躍するレンガの建物。
(国登録有形文化財)

中央保健センター
1994年に黒川紀章の設計により竣工しました。自然石を打ち込んだコンクリートの外壁で、重厚な質感を兼ね備えています。

姫路モノリス
1930年に建てられた「旧通信省姫路電信局」。レトロで重厚感のある外観は当時のままに、現在は結婚式場やレストランなどに使用されています。(市指定都市景観重要建築物)

もっと姫路を知りたいアナタへ 姫路城下の観光案内所。

姫路市観光案内所(姫路観光ナビポート)
JR姫路駅中央コンコース北西側
姫路市観光交流センターSHIRO TERRACE
(10月オープン予定)
大手前通り沿い、ローレルコート姫路1階

ワークショップ会場 9

まちづくりステーション「街の駅」
商店街や観光情報の発信や様々なイベントも実施し、訪れた人が気軽に、ふれあいを深める拠点にもなっています。

